



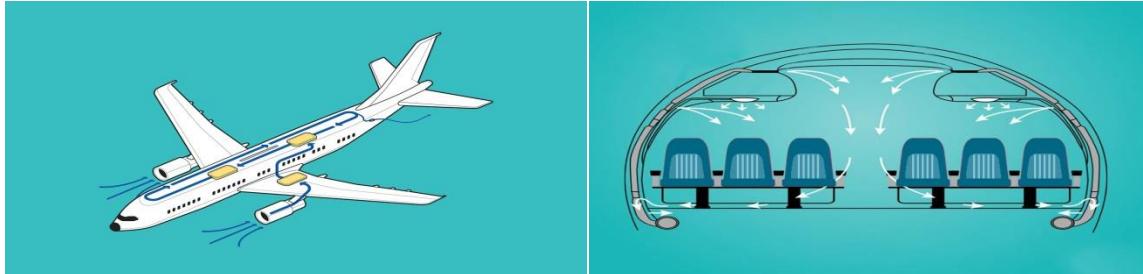
ベトナム航空 日本支社

東京都千代田区霞が関 1-4-2
大同生命霞が関ビル 6 階

News Release

2020 年 2 月 25 日

ベトナム航空 全航空機に搭載される HEPA フィルターについて



ベトナム航空（日本支社 所在地：千代田区霞ヶ関 1-4-2 6F、日本地区総支配人：キエウ・айн）は、現在運航されている全航空機内に装備される高効率の空気清浄システムについての告知を行いました。

機内の空気の質と衛生状態を確保するため、航空機製造業者のボーイングとエアバス社は、ベトナム航空の全航空機にHEPA(高効率微粒子空気)フィルターを装備しています。これにより、機内のバクテリア、ウィルスとともに機内感染のリスクを軽減できます。

HEPA フィルターは、ほこり、花粉、ヒト皮膚細胞、細菌、ウィルスなどの粒子を、最小 0.001 マイクロメートルで最大 99.99% 除去します。国際航空運送協会(IATA)によると、航空機に装備された HEPA フィルターは手術室の空気濾過システムと同様に作動するとし、航空機内の空気中の不純物によって病気になる可能性は、他の閉ざされた空間よりもはるかに低いとしています。

世界保健機関(WHO)も、民間航空機に HEPA フィルターを設置することで、機内の微生物の拡散を最小限に抑えることができると主張しています。また、客室内の空気は 3 分ごとに連続的に更新され、上から下に向かって客室内に垂直に流入し、水平に循環するように設計されており、客室内での汚染物質の拡散防止に貢献しています。

ベトナム航空では、COVID-19 の流行時に安全および衛生維持を強化し、乗客および従業員の健康を保護するため、中国本土、台湾、香港、マカオ、バンコクからベトナムに戻る航空機、ならびに健康異常の徴候を示した乗客を乗せている航空機の消毒など、さまざまな対策を積極的に実施しています。コックピットと客室の温度を 26°C に調整;機内での食事、飲み物、枕、毛布、タオル等の提供を減らしています。



ベトナム航空の努力に加えて、お客様は空港に到着、または搭乗する際に定期的に手を洗い、保健省の指示に従い、医療用マスクと手袋を使用するなどの予防措置をお取りください。時間を節約し、人と人との接触を最小限に抑えるために、お客様はウェブサイト www.vietnamairlines.com, ベトナム航空モバイルアプリ、空港にあるキオスクチェックイン機、またはコールセンター 1900 6265 経由、またはハノイかダナン市内センターにてチェックイン手続きが可能です。

<ベトナム航空について>

ベトナム航空（スカイチームアライアンスメンバー）は、1993 年にベトナム国営航空会社として設立しました。国内 22、海外 29 の就航都市に計 95 航路を有しており、一日当たり平均 400 フライトを運航しています。ボーイング 787-9 ドリームライナーとエアバス A350-900XWB 両機を同時に運航開始した世界初の航空会社です。

世界的に有名な航空業界の格付け機関スカイトラックス社は、4 年連続でベトナム航空を 4 つ星エアラインに認定しています。ベトナム航空は、世界トップクラスの成長率を誇るベトナム航空市場を過去 20 年間にわたりリードし、2 衍台の成長に貢献してきました。今後は、ベトナムの伝統文化がトレードマークの現代的な航空ブランドとして、世界的な知名度を確立することで、アジアトップクラスの 5 つ星エアラインとなることを目指しています。

<https://www.vietnamairlines.com/jp/ja/home>